

町民生活向上に 19項目の要望

6月23日、菅原議長は佐藤町長とともに山形県置賜総合支庁を訪れ、「令和5年度重要事業要望書」を総合支庁長に手渡しました。
2項目の新規事業を含む重要事業19項目について県の支援を要望しました。



		要望事項	現状・要望理由
新規	1	酪農業への支援 1. 酪農業の安定的な経営を可能とするセーフティネットの構築等、必要な支援を図ること 2. 自給飼料生産を推進するための環境整備を図ること。	①社会情勢の変化に伴う飼料や燃油、電気料金の高騰が続いており、農業経営を圧迫している。特に家族経営の小規模農家から廃業を余儀なくされる事例も発生している。 ②生産コストの増額に見合う新たな乳価設定の仕組みづくりに加え、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）のような、セーフティネット制度の構築が必要である。 ③長期的な経営基盤の確立に向けては自給飼料の確保が課題であるが、町内及び近隣には必要な機械や乾燥調製施設が十分に整っていないため、地域ごとに拠点施設等を設置していくことが必要である。
	2	一般県道深山下山線黒滝橋の架け替えについて 1. 大型車両等のスムーズな通行及び周辺住民の安全確保のため、黒滝橋の架け替えと一般県道深山下山線の改良に向けた調査に早期着手すること。	①国道287号と接続しており、日本海側の新潟県から太平洋側の宮城県へつながる道路網の一つとして、物流に欠かせない道路として利用されている。 ②幅員が狭いにも関わらず大型車の通行が多いことから、車両同士のすれ違いができず、国道287号の右折レーンや、県道側の橋の手前で停車して交互通行が日常的に行われている。 ③黒滝橋は白鷹大橋と並び、最上川を挟んで西側と東側の地域を結ぶ重要な役割を担っているが、周辺住民の往来にも支障をきたしているため、事故の発生も懸念される。
継続	3	白鷹高等専修学校への支援	12 木材の安定供給体制構築の支援強化
	4	デジタル化推進のための環境整備充実	13 森林境界明確化事業に対する支援
	5	人口減少対策に対する支援	14 有害鳥獣対策への支援
	6	地方交付税総額の確保充実	15 国道348号の高規格化による再整備
	7	地域公共交通に対する支援	16 主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進
	8	過疎対策事業債の必要額確保	17 国道287号道路改築事業の整備促進
	9	地域医療の確保	18 長井～白鷹間西廻り幹線道路整備の早期着工
	10	新型コロナウイルス感染症対策への継続支援	19 GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実
	11	グリーン社会の実現に向けた施策の充実	